



発行：社会福祉法人 くまもと障害者労働センター 〒861-8039 熊本市東区长嶺南1-5-4の
TEL: 096-382-0861 FAX: 096-285-7755 <http://1985orange.com>

2019年の幕明け 書初め大公開!!



謹んで新年おめでとうございます。今年は労働センターも34年目を迎えます。個性豊かなメンバーも増えて、個々の持ち味あるものを活かした仕事作りが出来る事を嬉しく思います。周りと同じ事をしてはならないのです。

労働センターらしさを感じられるものを皆さんにお届けして行きます。そして誰もが楽しんで生活出来る共生社会を目指して今年も飛躍的に進んで行きます。皆さん今年も宜しくお祈りします。

倉田 哲也

新年あけまして おめでとうございます

第12回 卒後を考える全国集会 in くまもとレポート

私もいつか、赤ちゃんを産みたい

2018年11月17日・18日に熊本学園大学で、第12回卒後を考える全国集会 in くまもとを開催しました。2007年より毎年1回全国持ち回りで開催されており、卒業後の障害者が置かれた現実と向き合い、各地での実践を語り合い、問題を共有し、困難を抱える私たちが互いに支え合うことを目的として、全国と開催地の参加者との交流を図りました。

今大会は、「私もいつか、赤ちゃんを産みたい」というスローガンのもと、障害があっても卒業した後、自ら望むライフステージ（就職・結婚・出産子育てなど）があることを確認しました。私たちの中にある障害のあるなし、重い軽いなどで、本人の望まないライフステージを決めつけ、諦めさせてきた現実を見つめ直すきっかけとなる大会となりました。

当日は、例年の倍以上の参加があり、成功裡に大会を終えることができました。たくさんの方にご参加いただきありがとうございます。

最後に、熊本県在住で24時間体制でヘルパーを利用する女性より、深刻なヘルパー不足による地域生活の危機の訴えがありました。大会参加者へ呼びかけをすると、協力者が見つかるという嬉しい出来事もありました。

「実行委員長あいさつ」が多くて嫌になりました

衛藤 陽一

私はなんと実行委員長という大役指名されました。最初、実行委員長をやってみらんね？と言われ、「まじ！？ 僕が実行委員長！？」実行委員長なんてそんなの1回もやったことななし、正直やりたくもありませんでした。どうして私がという



緊張の実行委員長挨拶

思いませんでした。なかなか頼まれてと断ることができない自分の性格を恨みました。

実際、実行委員会が動き出すと、月に1回会議があり、いろいろな人と出会ったり、なぜ、この大会が必要なのかなど、自分の中も考えるようになってからは徐々に不安や心配もなくなっていきました。

私自身、障害がありいろいろな経験をしました。小学校、中学校、高校と地域の学校へ通いみんなと一緒に過ごしてきましたが、就職の場面になると途端に選択肢が狭くなったことを思い出します。そのため、卒後の自分を考えと、どうなる？ どうしたらいい？ と不安ばかりが頭をよぎっていました。学校卒業してからのほうが人生は長く、いろんなことがあります。きっと僕だけでなく、多くの人が不安を抱えているのだと思います。

障害があるからあきらめる。ではなく、みんなと同じように自分の好きな夢をみれる人を増やしていきたいと思い、僕なりに精一杯、実行委員長を努めさせてもらいました。

当日の僕は、実行委員長としてスーツを着て行きました。スピーチの練習も毎日やっていましたが、ドキドキ・緊張で、いつも以上に言語障害が強くなりました。気をいれてがんばったけど、やっぱり人前でスピーチするのは嫌です。来場者は例年の2倍の参加がありました。

わが、おれんじ村は、おれプロ公演も行い、障害者の結婚についてアピールをしました。僕らの訴えが分かってもらえたらいいなという思いでやりました。

夕方から交流会に初めて参加しました。まず実行委員長のあいさつから始まりました。やっぱりまた挨拶。実行委員長あいさつが多くないでしょうか。僕はあいさつが本当に嫌になりました。でも、いろんな方と話しました。いろんな悩みやいろんな考えの方がいるんだなと思って聞いていました。沢山の方が交流会に参加されたい交流会が出来良かったです。この集会で学んだ事をこれから少しずつ実践して行きたいと思います。2日間を通じて全国各地から多くの方に来て頂き本当に有難うございました。

『うえ向きよこ向き』大爆笑。お笑いライブ&トーク



僕の勇姿と、これからの僕。

宮本 真太郎

今回僕は、準備段階から実行委員として参加をしました。毎月の会議、開催前には毎週のように会議があり、とても大変でした。そして、何よりも大変だったのが、大会通して2日間、司会をすることになったことです。



司会進行の宮本さんと有馬さん

司会の練習で原稿通りに言えなかったり、声が小さいから大きな声でと言われたり、なかなかうまくできませんでした。実際大会が始まると、緊張のあまり頭は真っ白になりました。でも終わってみれば、「自分の中では最後まで言えたのかなあ...！？ がんばった」と思いました。みなさまどうだったでしょうか？

分科会は、全部の分科会には聞きに行きたかったけど、全部は無理なので、私は「暮らす」の分科会に参加しました。私は、9月に結婚して、赤ちゃんができました。しかし、私たち2人（僕と彼女）には障害があるためヘルパーの利用がかかせません。しかし、ヘルパー不足で生活は大変です。それを会場で話そうと思いましたが、中々どう話しているのか難しかったです。でも分科会の中で知っている事、知らなかった事があったので、勉強になった2日間でした。これから、もっと自分のことや、困ったことを発信できるようになりたいと思いました。

「分けない」社会をつくる。長嶺中3年、有馬くんの発表



くまもと「SHOW」害者労働センター、「当事者の主張」



地域の学校へ行きたかった

高村 恭弘

集会の初日11月17日（土）の夜に熊本学園大学の学食で、交流会が行われました。初めにこの大会・実行委員長の挨拶があって、『さあ乾杯』に移ろうとすると、すでに数人飲んでいるグループがありました。どんな大会でも、早く呑みたくて人がいますね。

料理もあつという間になくなりました。そして、和やかな時間を各々が過ごしていました。その次は各地域からの自己紹介の時間となりました。僕は昨年の学園大学で行った、全国障害児を普通学校へ全国連絡会の集会のような、にぎやかな紹介を期待していましたが、とても静かな紹介となりました。スムーズで落ち着いた紹介で驚きました。ちなみに僕は、にぎやかな紹介が大好きです。

交流会の中で、障害児を普通学校へ・全国連絡会の代表の人に、僕の幼少期のこと、どうして僕は兄弟と別に養護学校へ行かなければいけなかったのか？ 本当は地域の学校へ行きたかったとの思いを話しました。すると代表の人より、お母さんと一度話し合ってみては？ とアドバイスをもらいました。ちゃんと母親と向き合っていなかったことに気がきました。なぜ僕が養護学校へ行く事になったのか母親の想いを聞きたいと思いました。また、自分の想いがどうだったかも伝えたいと思います。



参加者100名超え!!

餅つき

～蒸すより熱い。おれんじ村の大餅つき大会～



🍊 岩尾 将史

12月27日に、くまもと障害者労働センターで大餅つき大会を開催しました。今年子どもたちがたくさん来てくれて、当日は100名を超える参加者がありました。最初は寒かったけど、みんなの熱気ですぐからだも温まりました。私は途中で帰ってしまったので、もちつきはできたけど、つきたてのもちが食べれませんでした。つきたてのもちは最高なんですけど、残念(T_T)。

でも、みんな力いっぱいついて、楽しんでくれて良かったです。



2018年もいるいる。 2019年は、もっといるいる

～おれんじ村、大忘年会～



🍊 松尾 芳美

みなさん
今年もお疲れ様でした。



🍊 美味しそうなごちそう

今年もいろいろあったなあ…。来年もきっと色々あるんだろうなあ!! おれんじ村の皆のかおを見ながら、楽しくワイワイとした2時間。

初めて行った十徳やさん。予定外の部屋まで提供してくれて料理もおなかいっぱい食べられ大満足でした。ありがとうございました。来年もいい年でありますように。

ちなみに2019年のおれんじ村に注目!?

来年おれんじ村は、大きな飛躍がある。はず…。

みなさまに、お知らせできるように2019年も、みんなでがんばります。

編集後記

新年明けましておめでとうございませう。今年も宜しくお願ひします。昨年は卒後を考へる全国集会を行いました。全国各地からたくさんのご参加をいただきありがとうございます。私Eが、大会の実行委員長の大役を任せられ、最初の頃は不安や心配ばかり、この僕でいいのかなーと悩んでいました。しかし、毎月実行委員会を重ねるにつれてその不安が少しずつとれていきました。周りのサポートがあったからこそ最後までできたのだと思います。大会を無事終る事ができ実行委員長としてとても嬉しく思います。少しでも多くの人に私たちの思いが伝わり繋がっていきけると嬉しいです。

年末のおれんじ村では、恒例の「餅つき大会」を開催し、沢山の子どもたちの参加があり、わきあいあいとした雰囲気、例年以上に盛り上がったと思います。

また、新年があげるとすぐにバレンタインの時期がやってきます。毎年好評のおれんじ村のバレンタインギフトはいかががでしょうか? おれんじ村一同、ご注文をお待ちしています。

IT部 E